

科学実験 親子で挑戦

崇城大でテクノファンタジー



ロボットを使った的当てゲームに挑戦する児童ら＝熊本市西区

子どもたちにも科学の面白さを体感しても

らう「テクノファンタジー2019」が9月

29日、熊本市西区の崇城大であり、親子連れ約1900人がものづくりや実験に挑戦した。

今年で20回目だが、熊本地震で中断しており、4年ぶりの開催。各学科の研究室などが「7色LEDで折り紙を光らせよう」「ペーパーバッグで恐竜をつくる」「ロボットで遊ぼう」など30コーナーを開設した。

宇宙航空システム工学科の「ドローン操縦教室」では児童がコントローラーを操り、障害物を避けながら小型ドローンを操縦する訓練をした。

城山小2年の北川輝太君は「思い通りに動かすのは難しかったけど、初めての経験だったので楽しかった」と笑顔を見せた。

(渡具知萌絵)